

代表質問

おり、組織率は市内全世帯数に  
対して34・2%である。今年度  
末までの目標を35%とし、研修  
会の開催、事務支援や防災訓練  
への助言など積極的に支援して  
いく。

**質問** 全市民を対象とした防災  
訓練の必要性がある。また、高  
齢者にも対応した訓練が必要と  
考えるが。

**答弁** 地域住民及び防災関係機  
関と連携しながら、全市民を対  
象とした総合的訓練につなげた  
い。

**質問** 昨年、当局よりキャッ  
シュレス支援事業が提出された  
が、今後、コロナの収束を視野  
に、再度キャッシュレス化の推  
進を図る考えがないか伺う。

**答弁** キャッシュレス支援事業  
は有効な手段の一つと考えてい  
るが、昨年提案した際の課題を  
解決するため、関係団体と協議  
しながら進めていきたい。

**質問** 湯沢駅東西自由通路を有  
効利用するため、学校統合など  
で余剰となったピアノを設置し  
て、音楽のまちを内外に発信で

きないか伺う。

**答弁** 各地で賑わい創出や街づ  
くりで成果を上げていることは



湯沢市議員 豪 大山

承知している。音楽のまちをア  
ピールできるピアノの設置場所  
について、既存の文化施設を含

湯沢駅周辺複合施設整備基本計画について  
企業誘致について

め可能性を検討していく。

**質問** 導入が予定される図書館  
機能の規模について伺う。

**答弁** 市民の学習及び情報収集  
の場、地域の歴史など調査研究  
や課題解決支援を通じた知の拠  
点として、一般開架室や児童開  
架室、読書室、資料室、開架  
書庫などを想定し、面積は約  
985平方メートル、蔵書冊数  
は最大で16万冊を予定してい  
る。

**質問** 蔵書の規模はどのように  
設定されたか。

**答弁** 図書館についての協議に  
おいて、計画的に蔵書を増やす  
べくはじき出した数字である。

**質問** 民間活力導入の可能性調  
査の経過及び結果を伺う。

**答弁** 3段階の調査を行い、31  
社から意向を伺っている。全体  
的な傾向として、複合施設の整  
備や管理運営を一括で請け負う  
ことに関しては積極的だが、民  
間収益施設の誘致は、事業対象  
地の採算性の観点から消極的で  
ある。引き続き市内外の事業者  
から幅広く意見を伺う。

**質問** データセンターの地方拠  
点整備事業について伺う。

**答弁** 現在、実行可能性調査の  
公募準備段階で、地熱発電所の  
ある本市は、他地域よりも有利

な状況である。先般、県内で誘  
致を検討している本市を含む13  
自治体が経済産業省と意見交換  
を行った。引き続き情報収集を  
図りながら取り組みたい。

**質問** 今後の動き、調査費用の  
予算化は。

**答弁** 国では費用の補助率2  
分の1が進められるようであ  
る。地熱という再生可能エネル  
ギー、他の自治体に先駆けた強  
みを生かし進めたい。国の情報  
を収集しながら手を挙げていき  
たい。

湯沢市議会  
ユーチューブ  
チャンネル  
代表質問の動画を  
ご覧になれます。